

(総務文教常任委員会提出資料 平成24. 11. 28)

川東小学校・高田中学校改築基本設計及び小中一貫教育について

<亀岡市教育委員会 教育総務課・学校教育課>

1 基本設計策定経過

- ① 川東小学校及び高田中学校を施設一体型小中一貫校として改築することとし、地元の川東小学校・高田中学校運営協議会と協議しながら進めてきました。
- ② 平成22年10月8日に第1回川東小学校・高田中学校改築基本設計検討委員会を開催し、同検討委員会での協議(4回)及び同運営協議会での協議(3回)を経て策定してきました。
また、この間には運営協議会先進地視察、PTA説明会、PTAアンケート調査、川東小学校でのワークショップなどを実施してきました。

<参考> ○基本設計委託業者 株式会社 類設計室

2 基本設計概要 別紙のとおりです。

- 3 今後の計画
- ・平成24年度 実施設計
 - ・平成25年度～27年度 改築工事
※別紙の事業工程計画を参照願います。
 - ・平成27年度 川東小学校・高田中学校の小中一貫校としての開校

- 4 小中一貫教育の方針
- ・川東小学校・高田中学校施設一体型小中一貫校
 - ・地域連携型小中一貫教育校
(川東小学校、高田中学校を除く小中学校)

※別紙のとおりです。

川東小学校・高田中学校改築設計概要書

§ 1. 計画建物一覧(予定)

- | | | |
|-----------|-------------------|--------------------------|
| ・管理、特別教室棟 | R C造 2階建て | 延べ面積 2997 m ² |
| ・講堂 | R C造 (架構：S造) 平屋建て | 延べ面積 800 m ² |
| ・普通教室棟 | R C造 (架構：W造) 平屋建て | 延べ面積 2461 m ² |
| ・同上 (絆空間) | R C造 (架構：S造) 平屋建て | 延べ面積 462 m ² |
- ・正門棟、駐輪場、器具庫など 一式
- ・現、高田中学校屋内運動場 R C造 (架構S造) 平屋建て 830 m²
※平成 27 年度に大規模改修工事を施して活用
- ・現、川東小学校プール設備
※現況のまま活用

§ 2. 全体の仕様など(予定)

- ・川東地区の景観に配慮した低層で和風様な勾配屋根
- ・エレベータの設置をはじめとした全館バリアフリー対応
- ・温かみのある木質系内装の採用を検討
- ・全館電気式空調機設置 (講堂、既存建物部分は除く)
室容積の大きい絆空間は床暖房方式を検討
- ・雨水貯留槽を設けて中水を利用
- ・30kwh太陽光発電

§ 3. 設計資料等

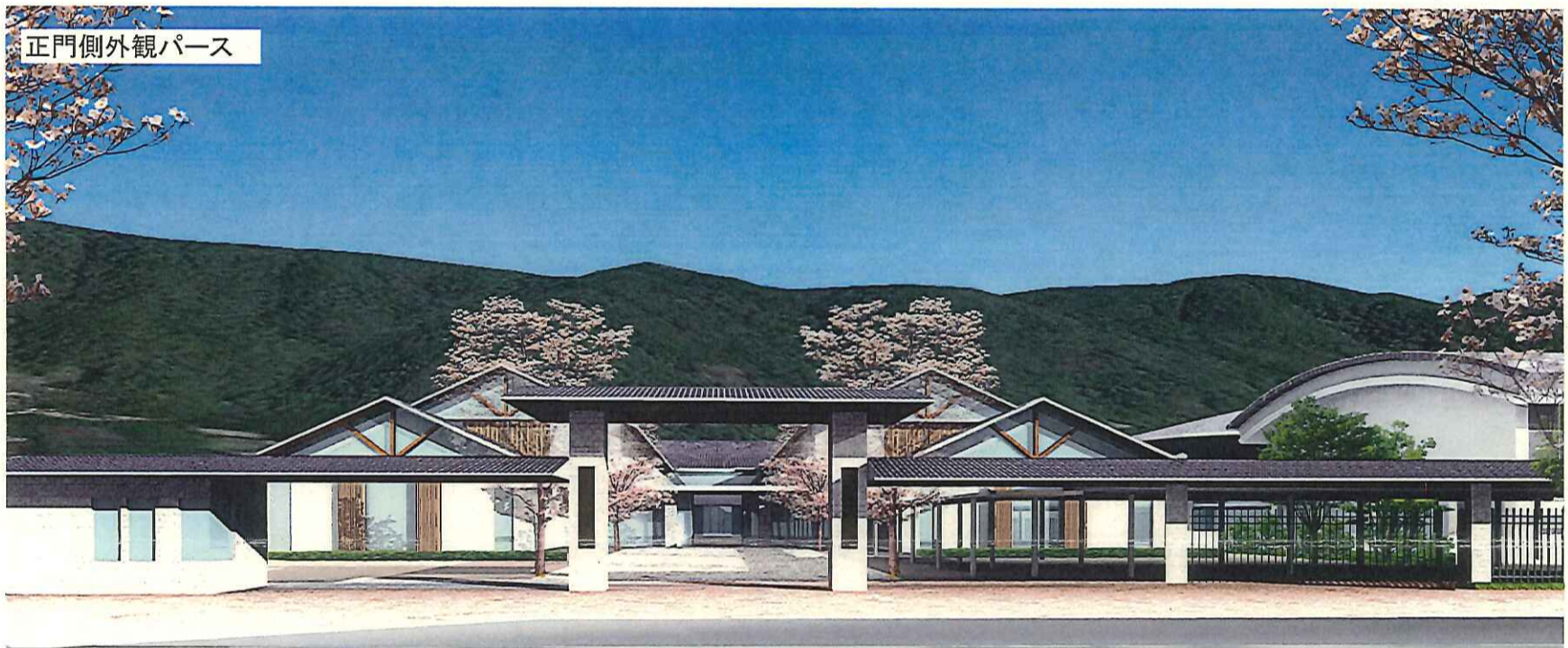
- ・別紙のとおり

亀岡市立川東小学校・高田中学校改築事業

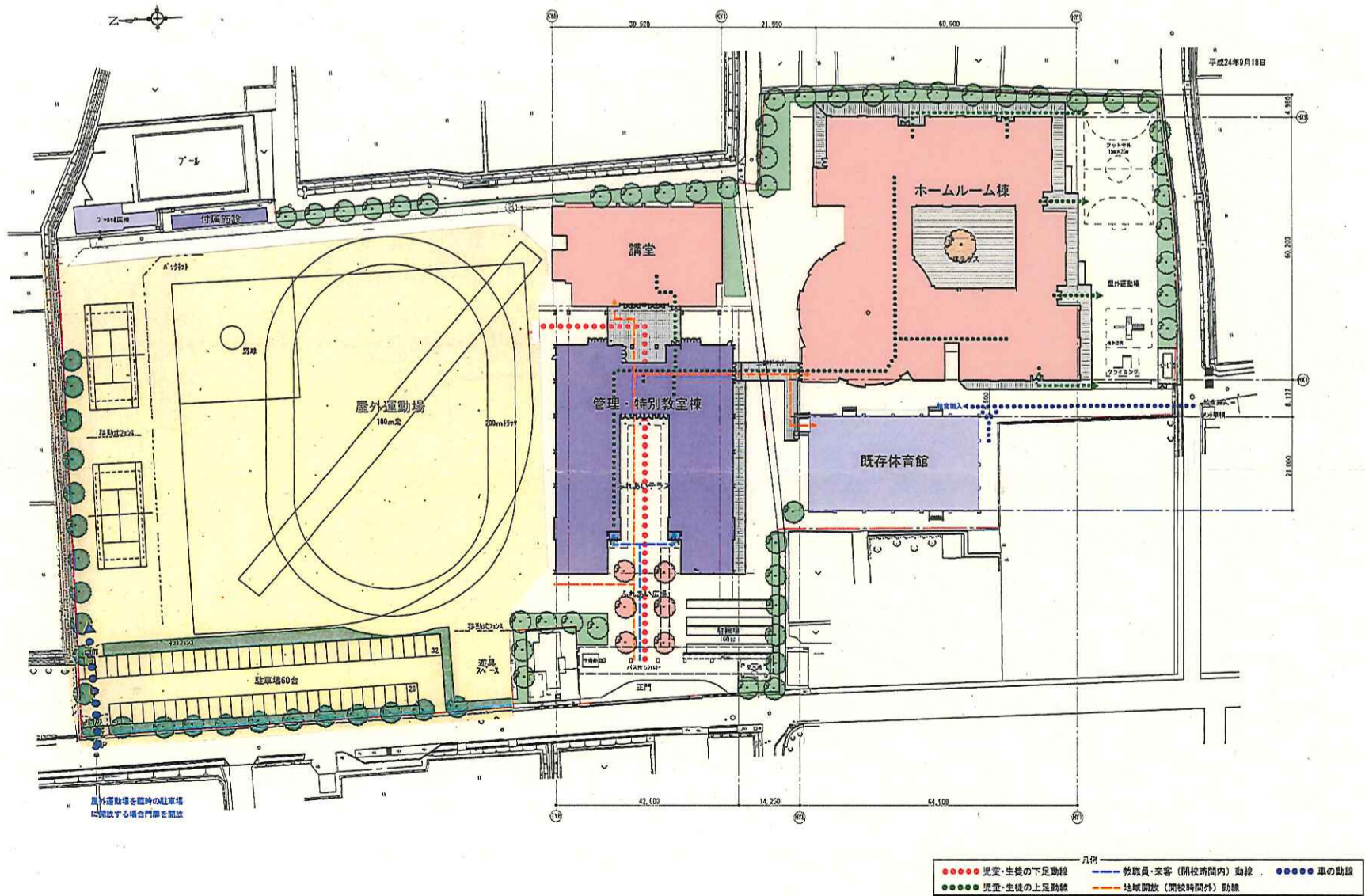
南東側外観パース



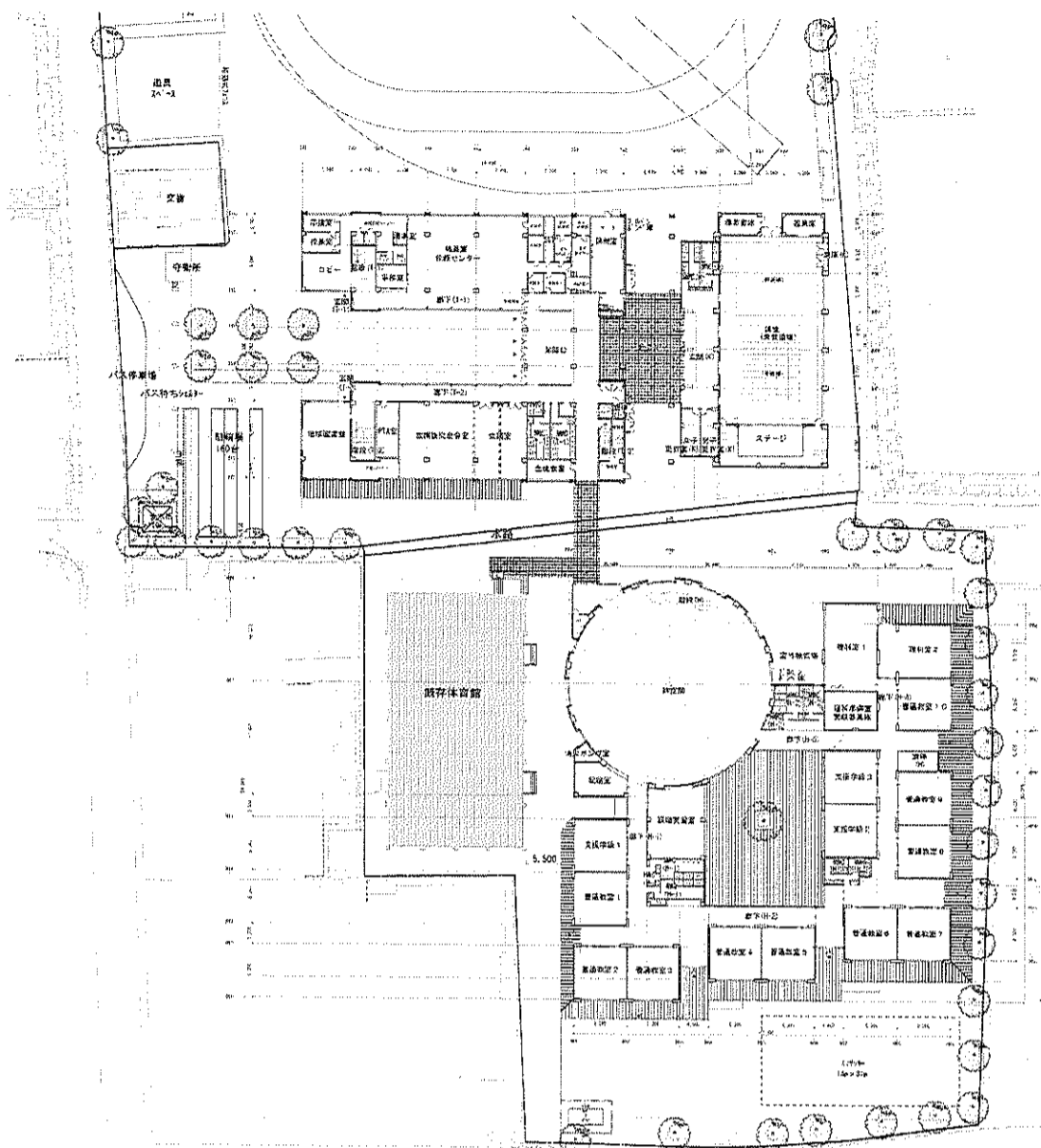
正門側外観パース



配置図

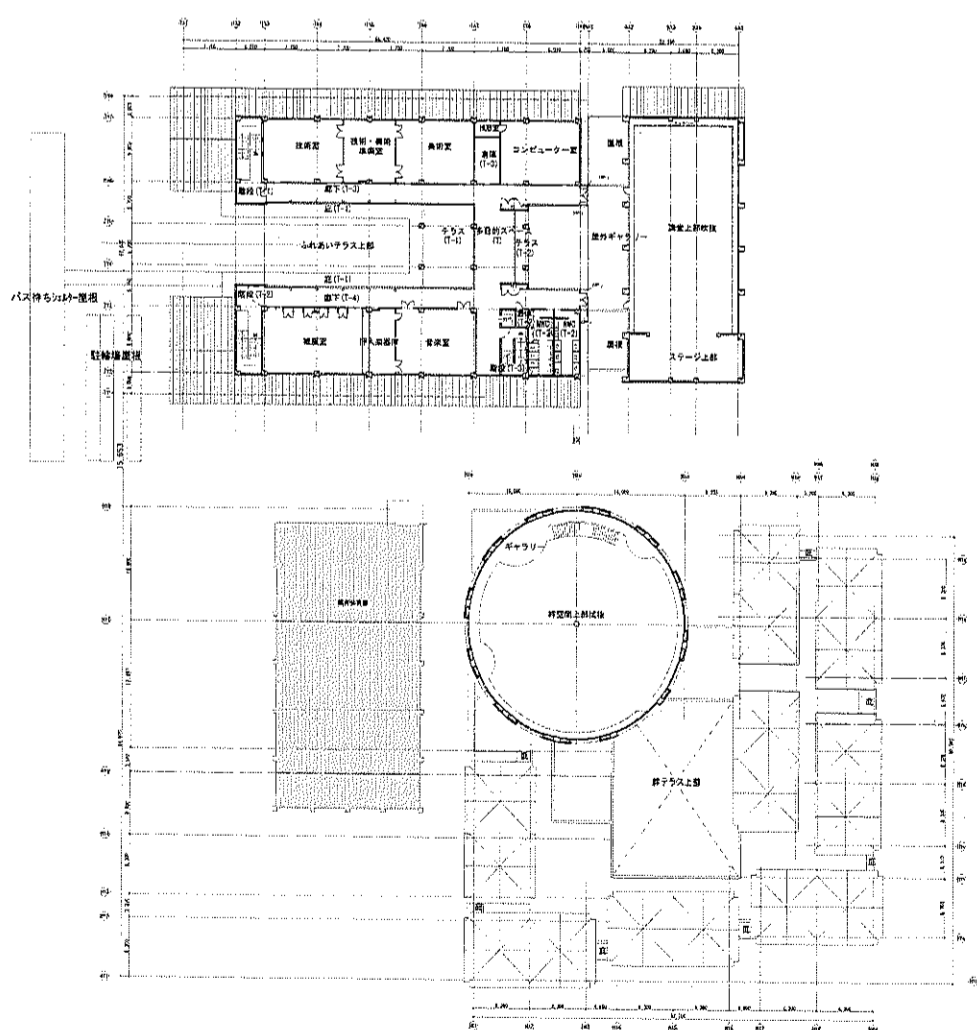


亀岡市立川東小学校・高田中学校改築事業



1階平面図 1:600

1階平面図

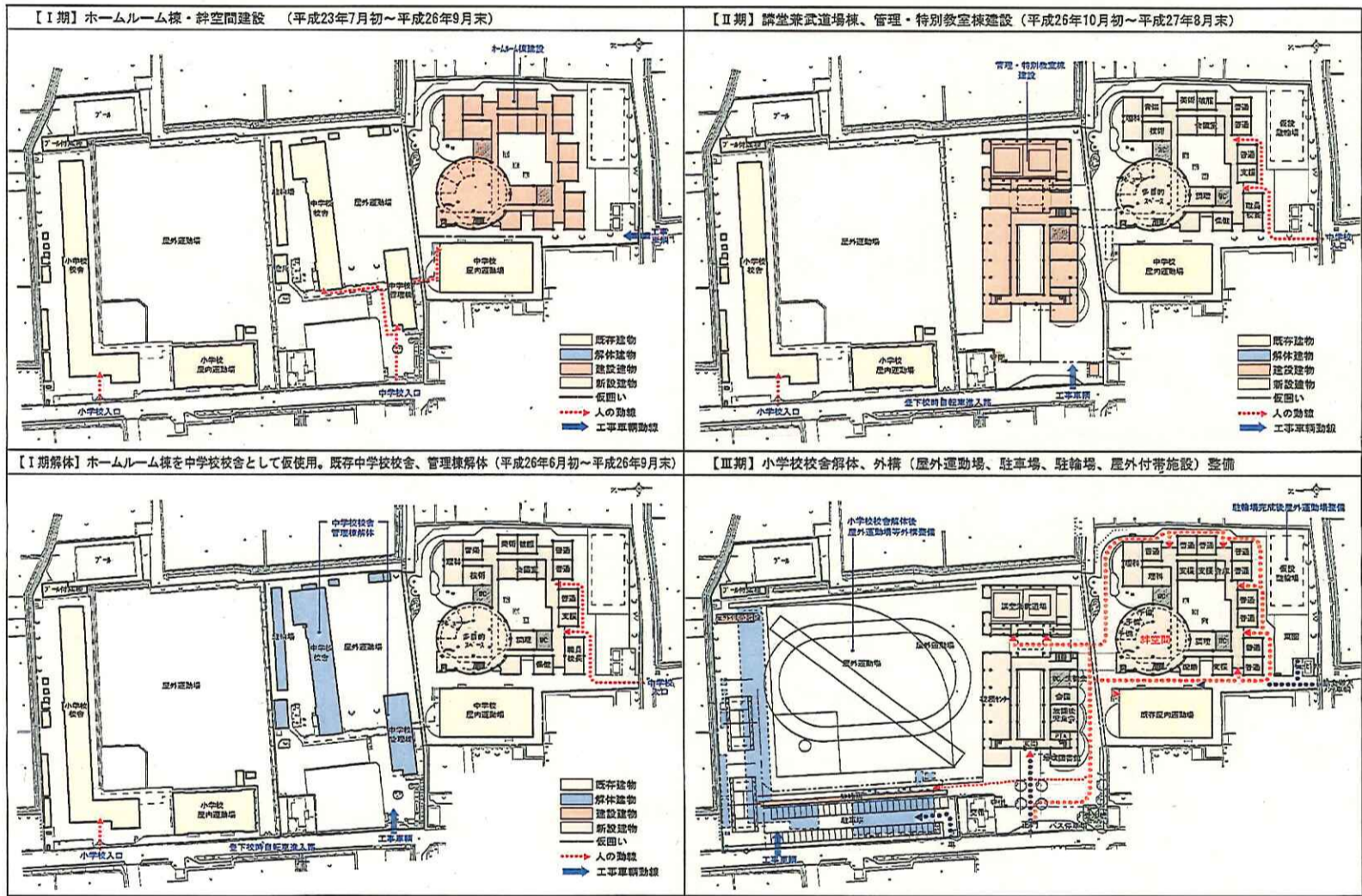


2階平面図

亀岡市立川東小学校・高田中学校改築事業

■工程(案)

年度	平成25年度												平成26年度												平成27年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	I 期工事(新築9ヶ月)												II 期工事(解体3ヶ月+新築9ヶ月+移転1ヶ月)												III 期工事(解体3ヶ月+外構・附属棟3ヶ月)											
	現中学運動場にHR棟を新築												現中学校舎解												現小学校舎 運動場整備											
	外構工事												外構工事												現中学体育館改修											
	中学移転												中学校舎跡に												現小学校舎											
	外構工事												外構工事												現小学校舎											
	外構工事												外構工事												現小学校舎											



川東小学校・高田中学校

小 中 一 貫 校

平成27年度開校(予定)



亀岡市教育委員会

小中一貫校（施設一体型）

亀岡市立川東小学校・亀岡市立高田中学校

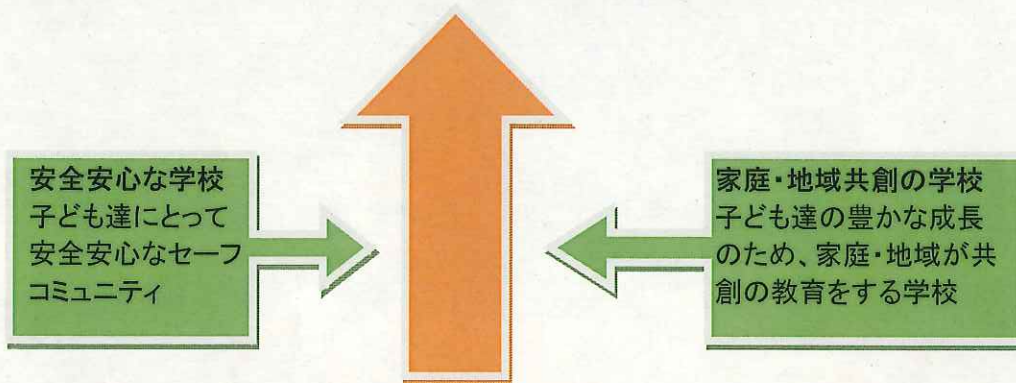
学校教育共通目標

『小中9年間を通して、「未来を創造する力」を培い、ふるさと川東を愛する心を育てる』

めざす子ども像

「夢と希望に向け がんばれる子ども」

- 学力の定着
学習を楽しみ、発達段階に即して意欲的に学習に取り組む児童生徒
- よりよい人間関係の構築
思いやりの心を持ち、自ら元気なあいさつをする児童生徒
- 健全な心身の発達
自分のいのちを大切に、自らが安全な行動をとれる児童生徒



義務教育9年間を見通した系統的・継続的な小中一貫教育

将来に生きる質の高い学力、安全・安心・きずなを育む9年間の学び

将来に生きる力を育む学校

- ・ 9年間を見通した系統的、継続的な学習指導
- ・ 教科担任制の導入
- ・ 「ふるさと学習」の実施

絆を大切にする学校

- ・ 異年齢集団を核にした教育課程の編成
- ・ 小中学校の交流活動、合同学習、合同行事

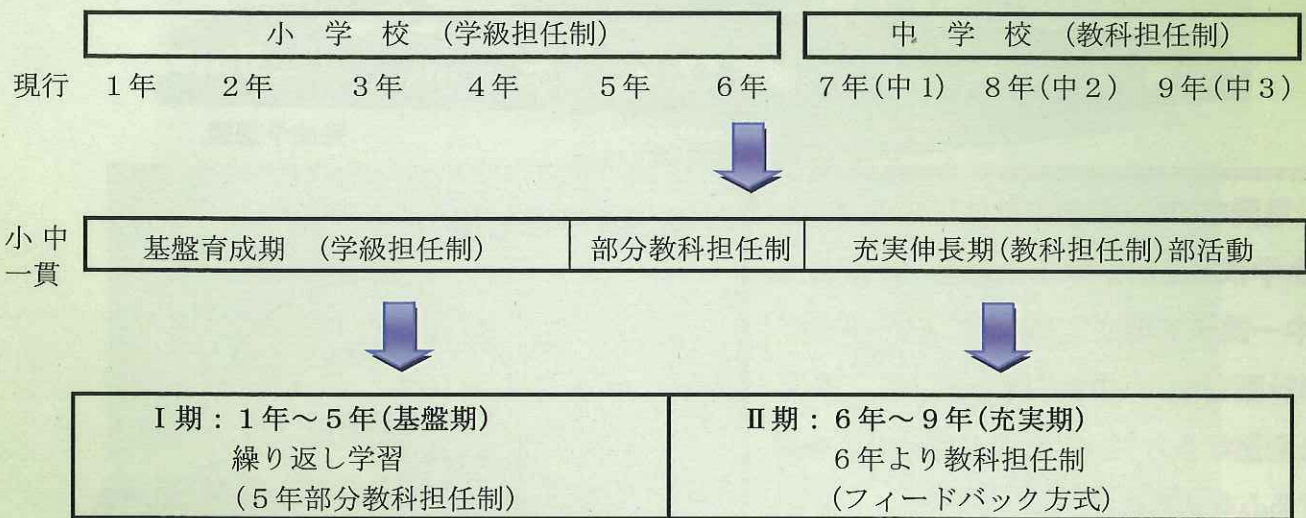
安全安心な学校

- ・ 9年間一貫した系統的、継続的な生徒指導
- ・ 小中の防災システムの統合

亀岡市立川東小学校・亀岡市立高田中学校

○将来に生きる質の高い学力の育成(多様な教育課程)

- ◇9年間を見通した系統的、継続的な学習指導
 - ◇今日的な教育課題に対応できるよう指導内容を充実し、自らの生き方を切り拓く資質の育成
 - ◇小学校高学年の教科担任制
 - ◇小学校・中学校教員による乗り入れ授業の実施
 - ◇学力テスト等の分析を小中合同で実施し、未定着な内容については合同で支援
 - ◇外国語及び英語学習は、学級担任と中学校英語科教員、英語活動サポーター、ALTによるTT指導
 - ◇1年生からの外国語活動、『ふるさと学習』の実施
 - ◇1単位時間は1年次～6年次45分、7年次～9年次50分
- 児童生徒の心身の発達段階から、「6・3」から「5・4」の区切り



○異学年集団活動を核に「きずな」を大切にした教育課程を編成

- ◇1年～9年までの異学年集団活動を中心に、よりよい人間関係の構築
- ◇小中合同スポーツ大会・学年発表会、町別ボランティア活動
- ◇中学生による合同体育・クラブによる体力と競技力の向上

○安全安心で、且つ地域支援センターとしての機能

- ◇9年間一貫した系統的、継続的な生徒指導
- ◇児童生徒の安全安心を確保
 - ◆小中合同の避難訓練・防犯訓練
 - ◆不審者の侵入を防ぐ安全員の配置
 - ◆児童生徒を見守る機能としての地域力
 - ・登下校指導、出迎えデー、パトロール隊
- ◇地域社会と一体となった地域支援センター
 - ◆敷地内に放課後児童会を設置
 - ◆多様な教育活動や地域とともに進める教育活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成
 - ◆地域住民の生涯学習の場
 - ◆学校図書館・地域図書館の充実

ひと・まち・みらい 夢と希望に向け

平成27年度

川東小学校・高田中学校

小中一貫校 開校 (予定)

亀岡市は「生きる力」を育む教育を推進しています



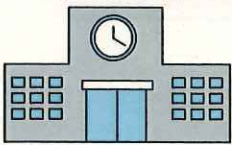
完成予想図

亀岡市では、校舎の改修に伴う、川東小学校と高田中学校の施設一体型の小中一貫校を平成27年度にスタートさせる計画です。小中9年間を通じて、「未来を創造する力」を培い、ふるさと川東を愛する心を育てます。

また、既存の小中学校については、地域連携型の小中一貫教育校として、充実させていきます。

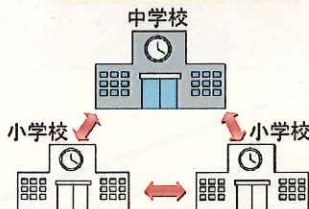
施設一体型
小中一貫校

小・中学校



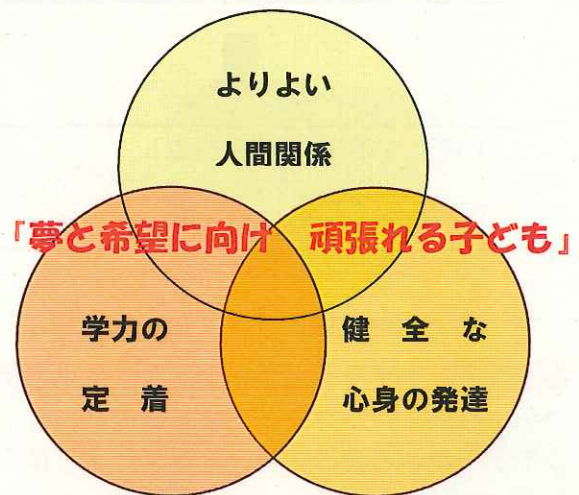
ひとつの学校(施設)で小学生と中学生が一緒に学校生活を送ります。

地域連携型
小中一貫教育校



同一校区の小学校と中学校が連携しながら学習活動を行います。

めざす子ども像



- ・9年間を見通した系統的・継続的な学習(9年間の教育課程編成)の推進
- ・小学校と中学校の教職員相互の、資質と指導力の向上を図る。
- ・小学校高学年後半から随時教科担任制を導入し、さらに学力の向上を図る。

亀岡市教育委員会

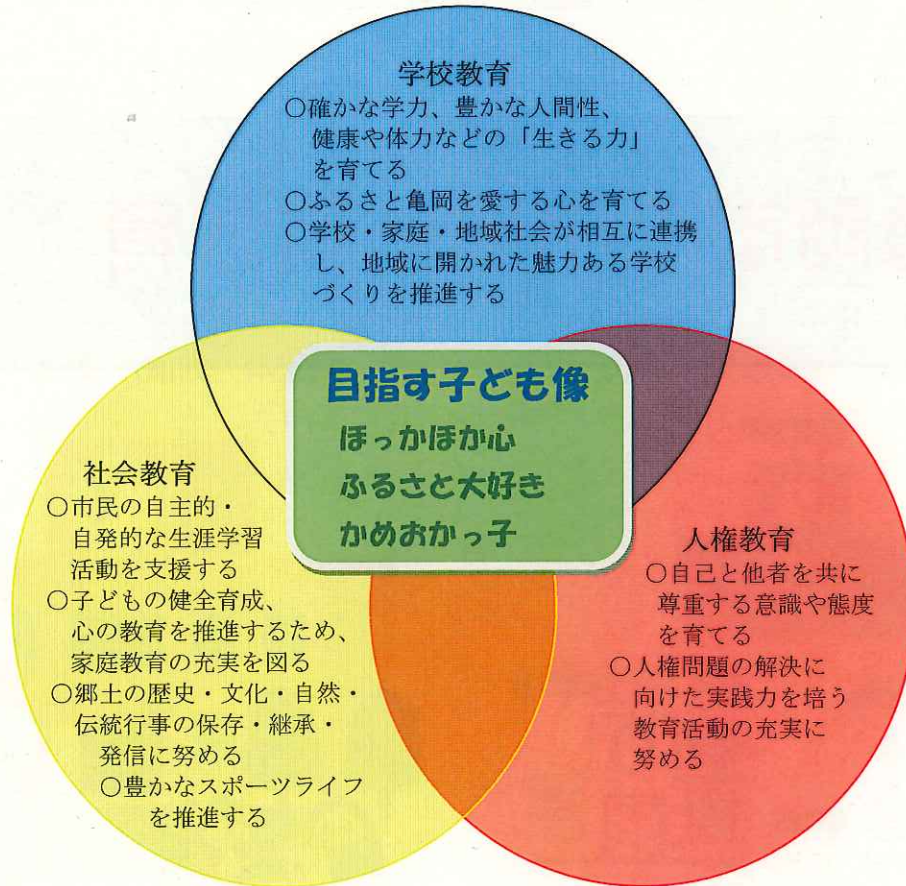
ひと・まち・みらい 夢と希望に向け

亀岡市の小中一貫教育

亀岡市教育委員会

亀岡市の教育

生きる力を育む教育の推進



亀岡市の教育は、基本的人権を尊重し、教育基本法に示された教育の理念や目標を基本に据えるとともに、学習指導要領や京都府教育振興プランを踏まえて推進します。

本市は「水・緑・文化が織りなす笑顔と共生のまち」を目指す都市像としてまちづくりを進めており、その担い手を育成するため、目指す子ども像を「ほっかほか心 ふるさと大好き かめおかっ子」とし、学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもたちの確かな学力、豊かな人間性、健康と体力などの「生きる力」の育成に努めます。

亀岡市の小中一貫教育を進めるにあたって

全国的な傾向として、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活にうまく適応できず、不登校等の問題行動につながっていく、一般に「中1ギャップ」と呼ばれる状況が指摘されています。

亀岡市では、小学校と中学校が連携した指導の重要性に着目するとともに、小学校と中学校の接続を円滑にし、中学1年生の学校生活への不安解消、生徒指導上の問題解決や学力の向上を図るため、小中連携の取組を進めてきたところです。平成15年度からの小学校専科指導の導入や、平成21年度からの小学校英語活動サポーター制度の導入は代表的な事業であると考えています。

こうした取組の成果を踏まえ、平成27年度から川東小学校と高田中学校の「施設一体型小中一貫校」を開校し、併せて市内の小中学校が連携した9年間の系統的な小中一貫教育を推進します。小中一貫教育では、小中学校間で目標を共有し、教職員が一体となり学習指導や生徒指導を組織的に展開し、日々変化する社会に柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」を育成していきます。

小中一貫教育のねらい

学校・家庭・地域が相互に連携し、地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進

- 1 9年間を見通した系統的・継続的な学習指導により、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を図り、確かな学力を育成します。
- 2 9年間を見通した系統的・継続的な生徒指導により、児童生徒の個性の伸長と社会的な資質や能力・態度を育成します。
- 3 9年間を見通し、地域に根ざした特色ある教育活動により、自分の住む地域に自信と誇りを持ち地域に貢献する人材を育成します。
- 4 ふるさと学習「かめおか学」の取組をとおして、地域に誇りを持つ態度を養います。
- 5 児童生徒間の多様な交流活動や地域との交流により、豊かな人間性や社会性を育成します。
- 6 小学校と中学校の教職員が相互に交流を深めることにより、教職員の資質と指導力の向上を図ります。
- 7 中学校区を単位とした地域・保護者の連携を深めることにより、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりを推進します。

小中一貫校（施設一体型）と小中一貫教育校（地域連携型）

亀岡市では、川東地域で施設一体型小中一貫校として平成27年度の開校を予定しています。また、他の地域においては地域連携型小中一貫教育校を目指します。

現在、亀岡市では小学校6年間と中学校3年間の教育が一定の成果を収めていますが、社会の変化と地域・保護者の意識変化に伴い、今後様々な課題が起こってくるものと考えます。

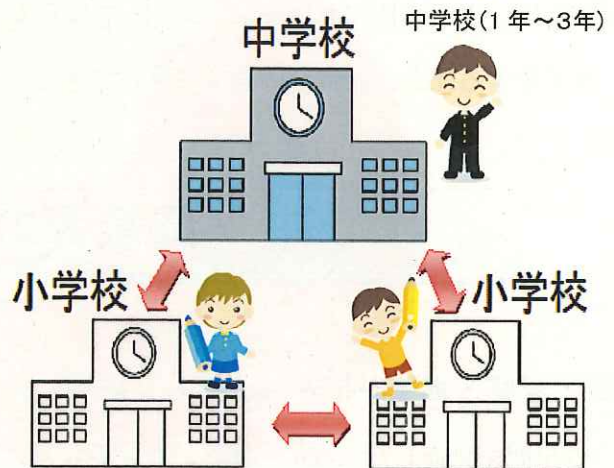
施設一体型小中一貫校での実践成果を市内の各学校に広げ、各中学校区で確かな学びと豊かな育ちの実現を目指します。

小中一貫校（施設一体型）



中学校（1～3年生）・小学校（1～6年生）

小中一貫教育校（地域連携型）



小学校（1～6年生）

小学校（1～6年生）

川東小学校・高田中学校

小中一貫校 平成27年度開校(予定)



完成予想図